

① むすぶ (調整機能)

ボランティアの支援を求める依頼者・ボランティアさんの双方の希望を調整する「コーディネート」機能を持っています。専門のコーディネーターが相談をお受けします。(平日9時15分～16時)

ボランティアセンター ではこんなことを しています!!

② ささえる (活動援助)

ボランティアグループや個人に、円滑にボランティア活動ができるよう、支援します。

③ やだてる (養成)

ボランティアに関する講座を開催し、新たなボランティアの発掘・養成を行っています。ボランティアの研修会なども開催しています。

④ ひろめる (広報・啓発)

広報紙によるボランティア情報の提供、ボランティアまつりなどのイベントによる区民への啓発活動を行い、ボランティア活動への参加を呼びかけています。

⑤ つながる (ネットワーク)

学校と連携をとって福祉教育をすすめています。地区社会福祉協議会や公民館、施設、作業所などとのネットワークづくりをすすめています。

もっと詳しく
知りたいときは
ご相談ください

問い合わせ先

広島市中区社会福祉協議会
中区ボランティアセンター

〒730-0051 広島市中区大手町4-1-1 大手町平和ビル5階
TEL 082-249-3114 FAX 082-242-1956
Eメール naka@shakyohiroshima-city.or.jp
月～金(祝祭日、8月6日、年末年始を除く)8:30～17:15



福祉体験

体験から“気づき”がたくさんありました。

当日は天候にも恵まれ、
総勢480名近くの参加がありました。

作業所展示 販売コーナー

オリジナルの手作りの作品を手に取ってもらい、作業所のことを知ってもらえる機会にもなりました。

報告

第13回

なかなく ボランティア まつり

平成21年
10月24日(土)
開催!

作業所体験・ 交流コーナー

ステージ発表

神楽のほか、作業所による太鼓・歌、小学生による南中ソーランなど、にぎやかにステージを飾ってくれました。また、中消防署の協力により、救急教室（心肺蘇生法、AED体験）の時間を設けました。

ボランティア連絡会、地区（学区）社会福祉協議会、作業所連絡会で実行委員会を組織し、多くの人たちに参加して楽しんでもらえるまつりを企画しました。

「見て」「体験して」ふれあい、交流を深め、ボランティア活動を知ってもらい、ボランティアさん相互の交流や地域の人たちとの出会いがありました。

普段作業所で行っている作品づくりを体験しました。
（ビーズアクセサリー）

バザー物品の提供、
ありがとうございました

収益：**95,900**円

おかげさまで、多くの方から提供がありました。

これらの収益は、ボランティア活動に活用させていただきます。

赤い羽根共同募金への寄付 ありがとうございました



あそびコーナーを
設け、寄付を募りました。

募金額：**5,457**円